

広報 まつのやま

199112月号 (No.190)



松之山保育所園児全員によるお遊戯「さんぽ」(松之山公会堂でのお遊戯会)



ボクは強い豆剣士

△△△△ 今月号の話題 △△△△

- 下布川地区センター竣工…………… 2
- 今冬の除雪計画…………… 3
- 山村留学生収穫祭…………… 4
- 提言・感想文優秀賞受賞作品…………… 6
- 11月のフォトニュース…………… 8
- 松高生スポーツ・文化に大活躍…………… 9
- 集落探訪(上鰯池)…………… 10
- 公民館だより…………… 12
- 丘山先生のスポレク祭報告…………… 13



下布川地区の皆さんに祝辞を述べる村山町長

下布川地区コミュニティセンター竣工

十一月十三日下布川地区の地域活動の拠点となる、下布川地区コミュニティセンターの竣工式が行われました。

竣工式には地区の方や関係者多数が出席し、センターの内部をゆつくり見学していました。

このセンターの総事業費は約五、九〇〇万円で、一階が小会議室二間（十帖と十二・五帖）、調理実習室、浴室、洗面脱衣室、男女便所となっており、二階が大会議室（四十九・五帖）、湯沸室、便所となっています。

センター前には運動広場（ゲートボール場）が造成され、ゲートボールで流した汗を風呂で落とすこともできます。

坪野の米穀倉庫跡は駐車場として利用され、現在使用されている坪野集会所は取壊される予定です。

このセンターが完成するまでは、下布川地区の拠点施設は旧坪野小学校（坪野分館）でした。しかし、場所が不便なことと木造老朽校舎のため雪掘りなどの維持管理が大変でした。

明治以降、下布川地区の初等

教育と地区の中心施設として人々から利用されていた校舎も、十一月中にすべて取壊されました。

竣工式当日は下布川地区の全世帯から出席者があり、熱望していたセンターに寄せる期待が伝わってきました。

経過報告では、長雨の影響を受けながらも順調に工事が進み、町内初の浴室付きコミュニティセンターという特徴をくわしく説明していました。

なお、このセンターは「まちづくり特別対策事業」の指定を受け建設されたものです。



モダンな下布川地区コミュニティーセンター

暖冬少雪予報は本当かな？

準備は万全除雪計画

ここ三・四年間めだった大雪もなく、大変過ごしやすい冬が続いています。

今冬の長期予報も暖冬少雪と予報していますが、天候は刻々と変わります。

雪は降って見ないと、大雪なのか少雪なのかわかりません。

スキー場は雪がなければ困りますが、大多数の町民の方は一日でも雪が降らないでほしいと願っています。

十二月三日の総代会で、今冬の除雪計画が報告・説明され、いつ雪が降ってもいいように除雪体制が整備されました。

▼国道関係

町内を縦貫する国道三五三・四〇五号線、県道上越安塚松之山線等の除雪延長は三一・五kmとなっており、二車線または一車線の確保を目標に除雪が行われます。

▼町道等除雪関係

町道松代松之山線等の除雪計画の延長は四八・四kmで、昨年より三・五km延長されることになりました。

特に、中坪・藤倉間が除雪路線となり一層便利になりました。

▼圧雪道路関係

圧雪については、各地区ごとに配置されている保安要員が、八台の雪上車を使って行います。その総延長は二四・九kmと、昨年より三・六km短くなりました。

▼除雪にご協力を

少しでも早く、また事故を起さない除雪作業をするため、次の点に気をつけてください。

- ◎除雪の障害となる道路上の夜間駐車は絶対にしないこと。
- ◎除圧雪車には近づかない。



道路除雪に活躍するロータリー除雪車

特に除雪直後の路面は水のようになりやすい状態となっていますので注意してください。

- ◎除雪作業により破損しやすいものは、あらかじめ囲って補強するようにしてください。
- ◎道路に面した家の屋根の雪下しは、区長さんなどの指示にしたがい、むやみに落さない。落としても人や車が通行できるようにしておくこと。
- ◎雪道はスリップ事故が大変多く発生します。
- ◎チェーンなど準備すると同時に、スピードの出し過ぎに十分注意が必要です。

スタッドレスタイヤは安全なタイヤです

スタッドレスタイヤの表面には、特殊な溝が刻まれています。さらに、特殊配合ゴムの特性によって接地面積を増大させ、摩擦力を大きくして制動性を高めています。

これまでにたびたび改良が重ねられ、現在ではその性能も、スパイクタイヤと比較してそんなに差はありません。

例えば、乗用車制動性能を比較(時速四〇kmでのロックブレーキ)してみましよう。

雪道での実験ではスタッドレスタイヤが二〇・九mで静止するのに対して、スパイクタイヤでは二一・三mで静止します。

また、スケートリンク状の氷上での実験では、スタッドレスタイヤが五・四m、スパイクタイヤが四九・七mで静止します。

このことから、両タイヤの性能の差はそれほどなく、急ブレーキ、急発進をしない安全運転を心がければ、スタッドレスタイヤは雪上でも氷上でも、十分安全なタイヤであることがわかります。

にぎやかな山留収穫祭

十一月十七日旧浦田中学校体育館で、山村留學生の皆さんによる収穫祭が行われました。

午前十時よりバザーが始まり、待ちかねていた人たちが会場へドツと押寄せました。

ノート一冊十円、サシミ一袋三百円、洗剤一箱五百円など、市価の二分の一から十分の一の値段で飛ぶように売れていました。

品物が残り少なくなると、勢いの良い掛け声とともに投げ売りが始まり、品物を入れておいたカゴも売ってしまいました。

また、おでん・焼きそば・甘酒などの香りが食欲をそそり、どのコーナーにも長い行列ができていました。

ステージでは山留生の皆さんがめでたい踊りの「ハネコ」、勇壮な「八丈島太鼓」、収穫を祝う「豊年太鼓」を披露し、盛んな拍手を受けていました。

午後は昔ながらの脱穀作業を体験し、慣れない手つきで千歯こきや足踏み脱穀機を使っていました。

脱穀した扱は木臼で玄米にされ祭壇に飾られました。

二時過ぎから神事が行われ、浦田小学校六年生の鷺弘治くんが神官を勤めました。

個人研究発表は春から取組んでいたテーマに基づき、一人五分位の発表をしました。

追体験劇発表は九月に行った佐渡キャンプの思い出や、松之山の民話「三方峠の地蔵様」と

「サル嫁入り」を劇にしたもので、一か月位前から練習していたそうです。

収穫祭には山留生の家族だけでなく、卒園生やその家族など六十名近くが訪れバザーの手伝いをしていました。

松之山の自然が大好きで毎年来られている方も多く、子供たちの山村留学が終っても受入れ農家と交流しているそうです。



鷺弘治くんが神官になって収穫祝の神事をおごそかに行いました



勢いの良い太鼓で収穫を祝いました



千歯こきで穀を落しましたが、なかなかうまく落ちませんでした

防災行政無線工事

九月から始まった防災行政無線の工事も順調に進み、古戸・坪野・黒倉など十か所の屋外子局も十二月上旬までには完成する見込みです。

大蔵寺牧場の畜舎横には中継局が建てられ、現在試験電波を町内に流しています。

十一月からは戸別受信用のアンテナ（ダイポール・三素子）取付け工事が始まり、各集落ごとに日を決めて効率良く作業を進めています。

アンテナを取付ける日がわかりましたら、回覧等で連絡しますのでご協力をお願いします。

なお、電波が一番良く受信で

きる場所にアンテナを取付けますが、除雪の関係でどうしても場所を変更してもらいたい場合は、取付けに伺った業者に指示してください。

小型ラジオ位の大きさの戸別受信機は、十二月中旬から一月にかけて各家庭に取付けられる予定です。

取付け場所を指示していただくチラシを十二月中に配布しますので、設置予定場所に忘れずに貼ってくださるようお願いいたします。

くわしくは、役場の総務課行政係（☎六―三一三一）へお問い合わせください。



大蔵寺牧場の畜舎横に建てられた中継局

新幹線利用が便利になります

ふるさと直通号冬期時刻表

12/25～1/8 3/1～3/31

松之山→越後湯沢→東京

松之山温泉発	8:10	14:00
湯山(東商店前)発	8:13	14:03
松之山診療所前発	8:15	14:05
橋詰発	8:18	14:08
五十子平入口発	8:21	14:11
東川発	8:23	14:13
越後湯沢駅西口着	9:40	15:30
上越新幹線	とき452号	とき420号
越後湯沢駅発	10:06	15:47
大宮駅着	11:10	16:54
上野駅着	11:30	17:14
東京駅着	11:36	17:20

東京→越後湯沢→松之山

上越新幹線	あさひ305号	とき417号	とき455号
東京駅発	9:08	14:32	(上野始発)
上野駅発	9:14	14:38	14:58
大宮駅発	9:34	14:58	15:18
越後湯沢駅着	10:33	16:02	16:22
越後湯沢駅西口発	10:40	16:30	
東川着	11:57	17:47	
五十子平入口着	11:59	17:49	
橋詰着	12:02	17:52	
松之山診療所前着	12:05	17:55	
湯山(東商店前)着	12:07	17:57	
松之山温泉着	12:10	18:00	

※料金(片道)大人1,000円 1歳以上中学生まで500円

※越後湯沢駅西口(温泉街)には停留所がありませんので、発車時間になりましたら西口駅前広場でお待ちください。

「松之山町の将来を考える」

三桶 志賀美和子

松之山の地場産業を考えると、第一に農業をと思います。

現在松之山の農業をささえている方々は、五十代六十代それ以上の年齢の方が耕作されておられますが、この集落でも後継者が居らず、農業者年金の受給も経営移譲を農協委託される方が多勢おられます。

このままで行きますと五年後十年後には耕作者がほとんど減って、山地の小さな田圃どころか基盤整備された田圃までカヤがはえて荒れてしまいます。

今でも宅地廻りでさえ背の丈もある雑草がはえて、荒れているところが随所に見受けられます。

これから先現状を維持していくには、どのようにして行けば良いかそれが急務だと思えました。

九月三日の松之山での一日農政局でも郡内の他町村からも、後継者・農業法人・生産組織等の問題が出されましたが、今後農業を存続させて行く事は非常にきびしくむづかしい事だと思

います。

農業が栄える事は農村にとって地域が豊かに、環境が美しく整備される事だと思っています。

そこで私は農業を少しでも安定させるために、農業後継者・生産組織について考えました。

農業に従事して頂く若者を町に確保するためには、農協に生産部（仮称）を作り、これは農協委託の裏付けにもなると思います。

そこにできれば農業の専門学校を卒業して、農業技術や農業機械の免許を持っている人達を農協職員として採用して、高齢化による規模縮小の耕地や、町を離村されて作り手のない耕地を耕作して頂き、年をとるとだれも病気になるがちですがその様な時の手助け、農繁期には希望者に春は機械による田植え、秋にはコンバインでの刈取りや運搬など若い力でやって頂けたらどんなに力強いかわれませんか。どこでも後継者がいないため、いくつになっても現役で頑張っておりますが、体力にもよりま

すが六十五歳以上になればせめて重労働くらいから解放されて年相応の生き方を願いたいものです。

平成五年にはライスセンターもできますし、松之山町にもぜひ若者による生産組織を作って下さい。

若者に就業して頂くには、待遇のよい身分保証が必要だと思っています。

仕事はきびしくとも、その分お給料をはずんで頂いたら何如でしょう。

次に農協にコンピューターを

設置して、個々の農家の経営内容・作付・機械・家族構成等を打込んで常に農協が町内の状況をキャッチして、困っている人の相談相手になって頂く窓口を作って下さい。

若い人を集める事はなかなか容易でないと思いますが、高校生にも町からお願ひして下さい。

そして、専門学校へ進学して下さるのなら町で援助して上げるくらいの温かい気持ちが必要ではないでしょうか。

Uターンの方も良いと思いますし、自然や山の好きな若者を

県外へも呼びかけて下さい。

夏は農業をやって頂きますが、冬期間の仕事についてはスキー、場勤務や公共建物の除雪とか、町内でとれたものの食品加工、たとえばモチつき・漬物の二次加工・缶詰等、これらはこれから新製品を作り出して行かなければなりません。

若し人達に町に来て頂いて、就業して頂くためにみんなの良い考えを出し合って、これからの実質的な若い起動力を育てて行きたいものだと考えております。

二名の人権擁護委員再任される



高波仁一郎さん



福原 一雄さん

人権侵害・土地・建物・家庭など日常生活の心配ごとの相談に応じてくれる人を人権擁護委員といいます。

人権擁護委員の任期は三年間で各町村に一名ないし二名、法務大臣より委嘱されて皆さんの相談に応じています。

このたび、福原さんと高波さんが任期を迎えましたが二人とも再任されました。

日頃悩んでいる事、困っている事などありましたら人権擁護

委員の方々に相談ください。

相談は無料で、秘密は堅く守られますので、お気軽に御相談ください。

福原 一雄さん（天水越・

酢屋 六六―二一三四）

高波仁一郎さん（下川手・

善助 六六―三四六一）

また、十二月四日から十日まで「第四十三回人権週間」が開催され、各地で啓発活動が行われます。



◆改正前と改正後の比較

事 項	改 正 前	改 正 後
支 給 対 象	第 2 子 以 降	第 1 子 以 降
支 給 期 間	義務教育就学前	3 歳 未 満
支 給 金 額		
第 1 子	—	5,000円(月額)
第 2 子	2,500円(月額)	5,000円(月額)
第 3 子以降	5,000円(月額)	10,000円(月額)

児童手当の改正点

平成四年一月一日から、児童手当制度が改正されます。
児童手当は児童を養育する人に対して、家庭における安定と、次代を担う子どもたちの健全な育成を図るために、手当を支給するものです。

▼児童手当を受給できる人

三歳未満の子どもを養育している方で、前年（一月から五月までの月分については前々年）

の収入が一定の額未満の場合に受けられます。

なお、今回の制度改正に伴い、支給対象となる年齢が引下げられましたが、現在三歳以上の児童を持ち、児童手当の支給を受けている方に対して経過措置が設けられました。

▼児童手当の額

第一子から支給対象となり、第一子及び第二子は月額五、〇〇〇円、第三子以降は一人につき月額一〇、〇〇〇円となります。

なお、手当は毎年二月、六月、十月に、それぞれの前月分まで支給されます。

▼特例給付

児童手当の所得要件に該当しないため、児童手当を受けられない被用者（厚生年金等に加わっていない人）または公務員について、その人の前年（一月から五月までの月分については前々年）の収入が一定の額に満たないときは、特例給付が行われます。支給額は、児童手当の場合

と同じです。

▼請求の仕方

児童手当や特例給付の支給を受けるには、児童手当認定請求書を役場（公務員は勤務先）に提出する必要があります。
児童手当の支給は、認定請求の翌月分からとなりますので、早めに請求をしないと、受給資格があっても受けられる月分の手当が受けられなくなります。くわしくは、役場の年金係までお問い合わせください。

老人保健制度改正のお知らせ

老人保健法（70歳以上のお年寄りに対する医療などを定めた法律）が改正されました。

今回の改正は、介護体制の充実と老人保健制度の長期的安定をめざして行われたもので、概要は次のとおりです。

▶一部負担金が変わります

医療機関の窓口で支払う一部負担金が、平成4年1月から外来1月900円、入院1日600円になります。（平成3年12月までは外来1月800円、入院1日400円）

なお、低所得者の入院時一部負担金については、現行通り1日300円（2か月限度、その後無料）です。

▶老人保健施設の入所対象者拡大

65歳未満の初老期痴呆（アルツハイマー病等）の患者の方も、老人保健施設の利用ができるようになります。（平成4年1月から）

▶その他

老人保健制度改正に伴い、下記の県単独医療費助成事業の一部負担金も、老人保健制度の一部負担金と同額になります。

- 重度心身障害者医療費助成事業（県障）一部負担金
- 老人医療費助成事業（県老）一部負担金
- 乳児医療費助成事業（県乳）一部負担金
- ひとり親家庭等医療費助成事業一部負担金

※くわしくは、役場の福祉係までお問い合わせください。

☎6-3131

1 牛の丸焼き大会

十一月十六日午後、旧浦田中学校体育館で「くびき牛丸焼き大会」が行われました。

丸焼きにされた牛は生後十九か月の子牛でしたが、体重は四四〇kgもありました。

しかし、食肉となると体重の約四割しかとれないそうです。

半身にされた牛は特大の串に刺され、炭火でゆつくりと焼かれました。

しみ出る油が炭火の上に落ち、香ばしいにおいが会場にたちこ

めました。

焼きあがった肉は次々に切取られ、今か今かと待っていた参加者の胃袋におさまりました。

最初は焼くのが間に合わず、切取る横から参加者に配られましたが、最後になると満腹になったのか大きな肉の塊がいくつも残っていました。

また、このイベントに岩船郡山北町の皆さんが特別参加し、浦田地区の方たちと交流を深めました。

また、このイベントに岩船郡山北町の皆さんが特別参加し、浦田地区の方たちと交流を深めました。

2 松里小児童が一日土木事務所長

十一月十八日午後、松里小学校の四年生から六年生三十三名が一日土木事務所長を勤めました。

この日は「土木の日」で、安塚土木事務所の所長さんをはじめ担当職員の方が子供たちを案内しました。

東川のトンネル工事現場、上鰐池大橋の工事現場では完成予想図を見せてもらいました。

北浦田の浜海川護岸工事では、

川にある自然石をうまく利用した堤防づくりを見学しました。

中立山の雪崩防止工事現場では、急斜面に作られた防雪柵の多さより、一基作るのに五〇〇万円もの費用がかかるという説明に驚いていました。

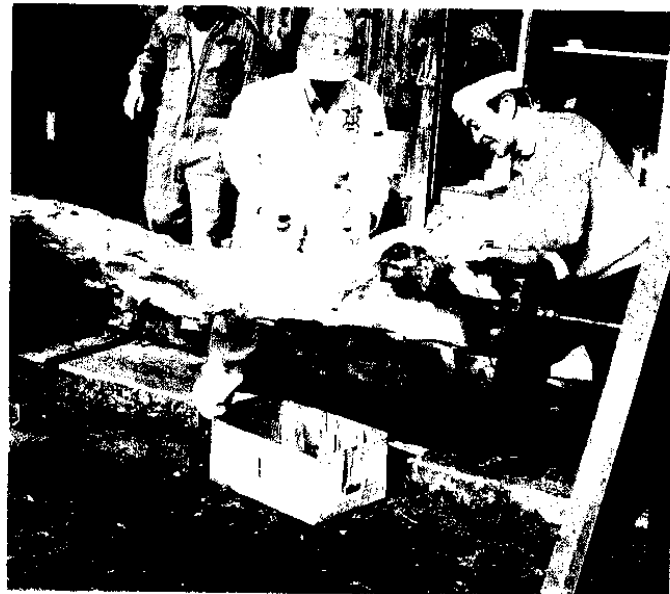
湯山のトンネル工事現場では、トンネルの作り方をパネルで説明してもらいました。

また、地すべり地帯に掘られたトンネルのため工事が難しく、

一m当り四〇〇万円もかかったそうです。

土木事務所への質問・要望コーナーでは、大人顔負けのするどい質問がいくつもありました。要望のなかには、天水島から津南までトンネルにしてほしいというのもありました。

家族の方が建設会社に勤めている子供も多く、今回の工事現場見学は貴重な体験になったことと思います。



香ばしいにおいが食欲をそそりました

松高生 スポーツ・文化に大活躍！

陸上競技

十月一日から二日まで上越市宮陸上競技場で、県高校陸上競技秋季上越地区大会が開催されました。

安高松之山分校からも各種競技に参加し、小規模校ながらりっぱな成績をおさめました。

▼槍投げ一位 (46 m 02)

二年 高橋光輝

▼走幅跳び三位 (6 m 35)

二年 高橋光輝

▼四〇〇m走六位 (55秒6)

一年 高橋真也

十月二十六日から二十七日まで長岡市宮陸上競技場で、第二十一回県高校選抜陸上競技大会が開催されました。

槍投げに参加した高橋光輝君は、県内の強豪相手に見事二位の成績をおさめました。

▼槍投げ二位 (50 m 08)

二年 高橋光輝

県高校生英語スピーチコンテスト

十一月十七日新潟市のアップル外語観光カレッジで、第十三

回県高校生英語スピーチコンテストが開催されました。

この英語スピーチコンテストには昨年度より応募し、昨年は三年生の池田美佳さんが山村留学の体験をテーマに入賞・本選出場を決めました。

今年は二年生の佐藤奈津美さんが「MY HOMETOWN」のタイトルで応募し、入賞・本選出場を決めました。

本選では松之山の現状を訴え好評を博しましたが、僅差で新潟清心女子高校の生徒に特別賞を取られてしまいました。

しかし、町内生徒の英語力が確実に向上していることがわかる明るい話題ですね。

生物部が県学生科学賞優秀賞受賞

第三十五回県学生科学賞の発表が行われ、生物部の皆さんが研究した「松之山地方(新潟県)に産するイナゴ属昆虫に関する研究(第二報)」が優秀賞に、「松之山地方におけるチゴユリ個体群の繁殖様式に関する研究」など三点が奨励賞に選ばれました。

生物部は昨年も「松之山地方の植物・昆虫」で優秀賞を受賞しており、二年連続の快挙となりました。

優秀賞を受賞したイナゴ属の研究内容は、全国でも少数例しか確認されていないハネナガイナゴが松之山町では高密度で生息し、新潟県内でも現在これだけの大産地は松之山町しかないことを突きとめました。

また、普通に見られるコバネイナゴの羽の長さが地方によって異なることもわかりました。

羽を計測するため県内全域に出かけ、数千匹のイナゴを採集して標本を作りました。

その結果、内陸部に入るほど羽が短くなり、海岸部に近づくほど長くなることがわかりました。

イナゴの生態をくわしく調べするため、卵から孵化した直後のイナゴを一〇〇匹ほど飼育し、毎日成長記録をつけました。

この研究論文をまとめるため、最後の一月間は部員総出で連日夜の十時頃まで作業を行った。

そうです。

大規模校とちがい設備も不十分で、顕微鏡写真は新潟大学まで行って撮影して来たという苦労話もあります。

この県学生科学賞の表彰式は十一月二十九日に新潟市で行われ

れました。

同校の生物部は発足以来松之山の植物を調べており、部員の皆さんは時間を見つけて七、〇〇〇点を超える標本の整理に追われています。



受賞を喜ぶ小林和博先生と生物部の皆さん
これからも頑張ってください

集落探訪

上鰈池

歴史と地名

町の東部、東川右岸高台に位置し、東方に有倉山（標高六三二m）があり、津南町・中里村と接している。

地名は淡水海老の生息する池が集落内にあり、下鰈池にあつた池と区別するため「かみのえび池」といわれていたという説があるが、くわしくは不明である。

正保二（一六四五）年の越後国絵図では村名が上海老村となつており、松代町の海老と区別していたと思われる。

約四十年後の天和二（一六八二）年の検地では上鰈池村となつてはいるが、なぜ村名が変わつたのか不明である。

天保六（一八三五）年、大倉地内で地すべりが発生し、復旧工事費として近村より約七十三両を借用した。

地形の関係で東川から上鰈池までの道路は九十九折の急坂で、

昭和三十三年から三十八年の道路改良でようやく車の通行が容易になった。

昭和六十三年八月、冬期間の安全な道路確保のため、集落と国道三五三号線を結ぶ町道東川上鰈池線の改良が始まり、一〇〇mを超える大橋が予定されるなど一日も早い完成が望まれている。

林道上鰈池線

昭和四十四年に工事が始まつた林道上鰈池線は、幅員四m、全長約三、六〇〇m利用面積一九二ヘクタールに達し昭和四十七年に完成した。

この林道の開通により新たな植林が行われるとともに、上鰈池集落の裏山にある田畑の重要な農道となった。

林道開通以前は山越えの細く険しい道を利用してはいたため、農機具も十分活用できなかった。耕転機を分解して裏山に運んだ話や、脱穀機を人の背で運

んだ話など今も語り継がれている。

十二神社と 観音堂

十二神社の創立年月は不明だが、天和二年の検地で除地を受けているのでそれ以前の創立である。

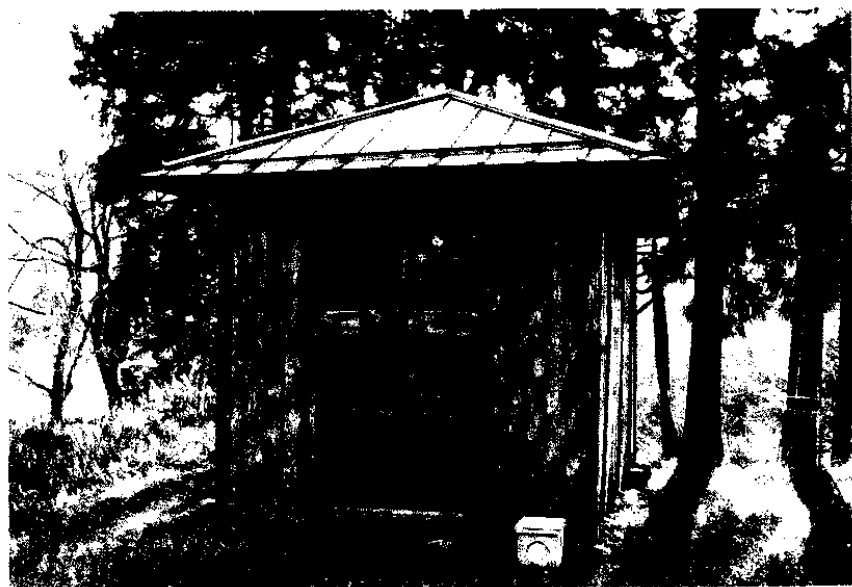
元文五（一七四〇）年、明治

三十四（一九〇二）年の二回改築されている。

観音堂の創立年月も不明だが、嘉永二（一八四九）年に改築されている。

本寺は正法寺で、七月十七日に観音祭が行われている。

堂内には子安地藏と不動明王が安置され、子供たちの遊び場となっていた。



子安地藏と不動明王が安置されている観音堂
7月17日には観音祭が行われている

冬季分校

東川小学校への通学が困難になる冬期間、低学年を対象とした冬季分校が集会所に設置される。

例年十二月から設置されていたが、今年度は一月から三月までの三学期だけとなった。

一・二年生の三名は本校の友達と離れて授業を受けるが、本校と冬季分校の間にはテレビ電話が入っているため、子供たちは寂しい思いをしなくても良くなった。

簡易水道

飲料水不足を解消するため、今年度約八、六〇〇万円の予算で布川地区初の簡易水道の建設工事が行われている。

有倉山麓の二か所の湧水を集め、集落上部の配水池まで三、一三〇mの導水管が埋設された。

また、町内の簡易水道でテレビメーター（自動監視装置の一種）が初めて導入され、水源・配水池などの水量が役場でもわかるようになった。

上鰈池簡易水道が完成すると、ようやく町内の水道普及率が七割に達する。

漏水注意

水道の点検も忘れずに



工事が進む上級池簡易水道

水道管は地中深くあるので漏水はなかなか見つかりません

降雪の時期を迎え、どの家庭でも冬囲いが終わったことと思います。

そこで、何か忘れているものがありますか？

例年、寒くなるこの時期に多く発生するのが水道のトラブルです。

凍結による水道管の破裂・漏水など知らないうちに発生し、春になってから発見される事がたくさんあります。

漏水分は水道料金に加算され

ますので、漏水を起こさないよう十分注意してください。

水道料金だけの問題でなく、浄水場が空になるという事態を招き、まわりの人たちに迷惑をかけることもあります。

本格的な降雪の前に次の点をもう一度確認してください。

◎家の中への引き込み管の保温設備は十分ですか。

◎メーター器の上に何か置いてありませんか。

◎冬期間留守になる家、または

作業所・車庫等に水道が引いてある所は、元栓をしめるなりしてください。

冬の間、水道を使っているのに圧が無くなったたりした場合は漏水が考えられます。

早めに役場水道係か業者に頼んで、調べてもらいましょう。

また、凍結防止のため蛇口を少し開けて、常時水を流しておいてください。

お問い合わせは水道係まで

☎六―三―三―

保育所お遊戯会

十一月二十日午前、松之山公会堂で松之山保育所のお遊戯会が行われました。

オープニングは園児全員によるお遊戯「さんぽ」で、お遊戯が終わると大きな声で「はじめのことば」を元気いっぱいに言いました。

一番小さなひよこ組のかわいい歌や踊り、うさぎ組の

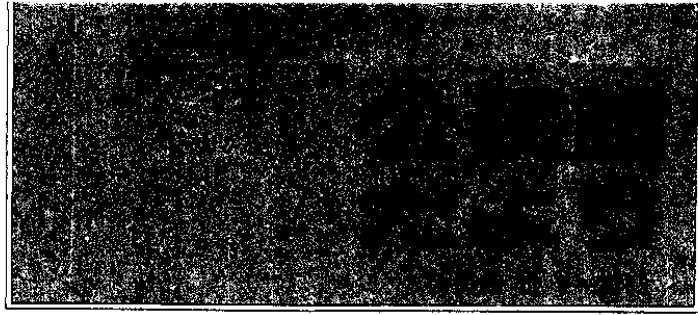
元気良い踊りや劇、一番大きなきりん組はメロディオンの演奏やタイの踊りを披露しました。

見学に来られた父母の皆さんは、かわいい我が子の姿をカメラやビデオに納めようと一生懸命でした。

なお、松里保育所は十二月四日、浦田保育所は十一月二十七日にお遊戯会を行いました。



松之山保育所のきりん組さんのお遊戯
「インディアン祈り」、本当にかわいいですね



各種バレーボール大会

十一月十六日夜、町民体育館で
婦人バレーボール団体交歓会が
行われました。

お母さんを応援しようとい子供
たちも大勢詰めかけ、スパイク
が決まるたびに大きな歓声があ
がりました。

成績は次のとおりです。

一位 松里チーム
二位 浦田チーム
三位 布川チーム
敢闘賞 松之山チーム

婦人バレーボール 団体交歓会

十一月十六日夜、町民体育館で
婦人バレーボール団体交歓会が
行われました。

お母さんを応援しようとい子供
たちも大勢詰めかけ、スパイク
が決まるたびに大きな歓声があ
がりました。

成績は次のとおりです。

一位 松里チーム
二位 浦田チーム
三位 布川チーム
敢闘賞 松之山チーム

郡 囲 碁 大 会

十一月十七日、郡内囲碁愛好
者の交流と親睦を図る東頸城郡
囲碁大会が自然休養村センター
で開催され、段級ごとに三プロ
ックに分かれて熱戦を展開しま
した。

Aブロックは有段者で十三名、
Bブロックは一〜三級で十二名、
Cブロックは四級以下で七名が
参加しました。

対局は午前九時三十分頃から
始まり、午後三時過ぎまで昼食
時間なしで続けられました。

対戦相手を自由に選べる総当
り戦で、各人五局の勝敗で順位
を決めました。一段級差につ

き一目置かれるので、段級差が
あっても互角の対局が多く見ら
れました。

成績は次のとおりです。

▼Aブロック（有段者）

一位 養和 実（初段・浦川原村）
二位 石塚幸貞（三段・松之山町）
三位 小山正明（初段・大島村）

▼Bブロック（一〜三級）

一位 柳 久義（三級・松代町）
二位 高橋伊吉（三級・松之山町）
三位 久保田光栄（二級・〃）

▼Cブロック（四級以下）

一位 南雲晴夫（四級・松之山町）
二位 小口竹造（五級・〃）
三位 伊藤与一（六級・〃）

町長杯バレー ボール大会

十一月十七日、町民体育館で
第十二回町長杯バレーボール大
会（六人制）が行われました。

今年の大会には六チームが参
加し、そのうちの三チームは若
さあふれる高校生チームでした。
また、好プレー・珍プレーが
続出した大会でした。

成績は次のとおりです。

一位 昇勢会
二位 松高三年
三位 ウッキーバブルス

近隣婦人バレー ボール親善大会

十一月十七日、牧村民体育館
で近隣婦人バレーボール親善大
会が行われ、松之山町からは松
之山チームが参加しました。

この大会は東頸城郡内だけで
なく、中頸城郡の清里村や三和
村などからも参加がある広域的
な親善大会です。

松之山チームは予選の第一ブ
ロックで一勝一敗の成績でした
が、得失点差で惜しくも三位に
なっていました。

郡親善婦人ミニ バレーボール大会

十一月二十三日、牧村民体育
館で東頸城郡親善婦人ミニバ
レーボール大会が行われ、松之
山町からは松之山LLシスターズ
チームが参加しました。

試合は二ブロックに分かれて
行われ、LLシスターズは第二
ブロックで他町村の三チームと
対戦しました。

結果は第二ブロックの二位で、
惜しいところで一位をのがして
しまいました。



互角の対局が多く見られました

丘山先生の全国スポーツレクリエーション祭報告

スポレクくまもと'91に出場して

安高松之山分校 丘山司郎

生涯スポーツを目的とする第四回全国スポーツレクリエーション祭は、今年度九州の熊本県で開催されました。「火の国、げんき、大交流」のスローガンのもと、北海道から沖縄まで、

全国から二十競技の代表数千名が熊本市の水前寺陸上競技場に集合。十一月九日(土)午後二時半より開会式が行われました。

鳩山文相、三笠宮、県知事、市長など多数の祝辞のあと、趣向をこらした数々のアトラクションは素晴らしく、見ごたえのあるものでした。本県からは私の出場するマスターズ陸上十七名をはじめ、各競技代表百四十六名が参加しました。

我々マスターズの面々は、十一月八日(金)新幹線で東京に集合し、東京駅十七時五分発西鹿児島行き寝台特急はやぶさ号に乗り、翌九日十七時間かけて、午前十時半に熊本到着。宿舎に荷物を預け会場に直行、そこで結団式を行い開会式に臨む、というかなりハードな日程でした。競技は翌十日(日)九時より始

まり、私はM55(男子五十五歳)五十歳のクラス)二百m走に出場しました。レースは四組二十七名、私は第四組(沖縄・福井・和歌山・福島・兵庫各代表と私)でした。

スタート台に並ぶと、久しく忘れていた緊張感が身体を走ります。高校時代、バスケケットボールのインターハイ第一試合のセンタージャンプに立ったときのことを思い出しました。結果は福井の選手が強く最後まで抜くことができず、二十八秒〇一のタイムで第二位、全体的には六位入賞でした。

競技二日目の十一日(月)、私はM55百m走と四百mリレーの二種目に出場しました。レースは二百m走と同じく四組までであり、私は第一組(秋田・栃木・和歌山・北海道・山口・愛媛各代表と私)でした。北海道と愛媛の選手がめつぼう強く(二人共十二秒台で全体でも一・二位)私は十三秒七五でやっと三位でした。各組とも強い選手がそろっており、すっかり諦めていた

のですが、何とか八位に入賞することができました。

午後三時からの四百mリレーは、三十一チームが四組に別れて行われました。我が新潟県チームは第一組で走りしました。

自分としては一番良い走りができたのですが、エースのアンカー(三十七歳、十一秒台の選手)が肉離れを起こすというハプニングがあり、残念ながら入賞できませんでした。

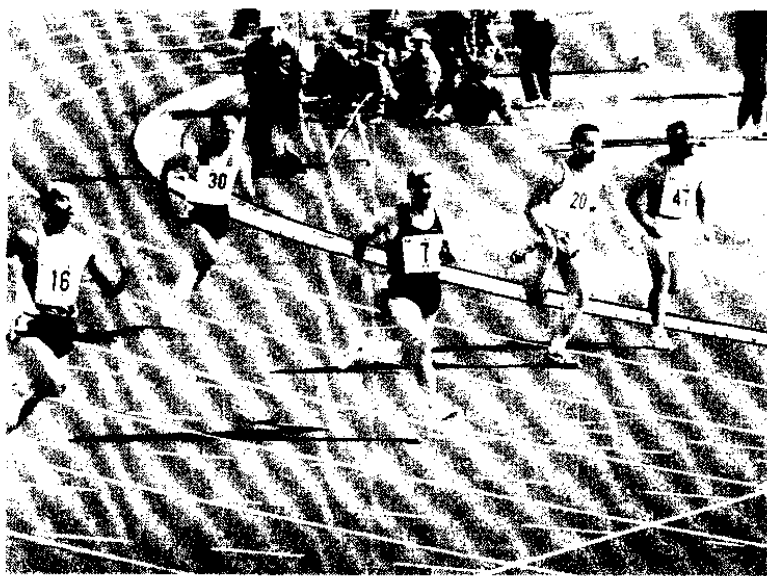
私自身、この大会を通じて色々なことを学ぶことができました。まず、本当に楽しい大会です。レースは真剣そのものですが、一旦競技が終れば和気あいあい、しかも皆さん実に若々しいのには驚かされます。若さは年齢ではない、ということを実感しました。我が新潟チームの最高年齢者は七十五歳の方です。十数年前に癌に冒され、片腕を切断されたのですがお元気

で、暗さは微塵もなく、片腕でバランスを取りながら三千mを走ります。また、今大会最高齢者は八十七歳で百m走に出場され、大拍手のなか見事完走されました。感動的できえありません。

町民の皆さん、特に中・高年の皆さん、もっと積極的にスポーツを楽しみませんか。運動して汗を流したあとの爽快感を、もう一度思い出してみませんか。そのあとで飲むビールがまた格別です。但し、急に強い運動をしたり、無理をしては絶対にだめです。まず歩くことから始めて、徐々に身体を慣らしていくと良いと思います。

さいわい町にはグラウンド、体育館、テニスコート、プール等があります。適度な運動を楽しみながら、若さを取り戻そうではありませんか。

最後になりましたが、今大会出場に際し、物心両面に亘って応援して下さいました町当局、公民館、体育協会の皆様、ナイター野球コンゴーズチームの皆様、高校の同僚の皆様方に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



200m 第4組のレースの様子
一番左が丘山先生です。

お知らせ

年末年始の交通事故防止運動

年末年始の経済活動の活発化に伴う交通の混雑、忘年会や新年会などによる飲酒運転の増加、さらに積雪・凍結などの交通環境の悪化などによる交通事故を防止するため、交通安全知識の向上と正しい交通ルール等の徹底を図る目的で行われます。

スローガンは

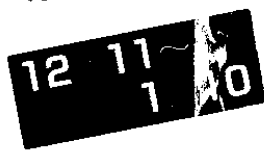
安全は みんなの願い
ゆく年くる年

重点事項として次の三点をあげています。

- 一、飲酒運転の追放
- 二、スリップ事故の防止
- 三、踏切事故の防止

特に、飲酒運転は死亡・重大事故に直結します。

家族ぐるみで飲酒運転の危険性、違法性、事故責任などについて話し合い、車を運転して来た人には酒類を出さないよう気をつけましょう。



年末年始の火災予防

毎日火の元警報 発令中

平成三年もあとわずか、年末年始はどちらのご家庭でも火を使用する機会が大変多くなりま

す。

事故のない年末を過ごして、新しい年を迎えましょう。

暖房器具、特に石油ストーブによる火災は相変わらず多く発生しています。

その原因はちよつとした不注意によるものです。

暖房器具の正しい取扱い及び点検を怠りなく！

また、火を使っている場所を離れる時は、必ず火を消してから離れるよう習慣づけましょう。

一月十九日は「一九九番の日」

いざという時の正しい通報、あわてずおちついて「正確に」連絡してください。

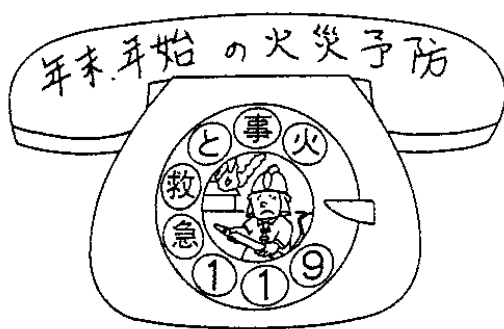
○火事(救急)です

○場所は○○町○○です

(集落名でも良いです)

○目標は○○(神社の前とか)

○通報者の名前



短歌

若きとは年齢に非ず火の国に

集える選手のこの若々しさよ

底抜けに明るき友は癌病みて

片腕失ないし七十五歳

走り終え呼吸はまずせつ空仰ぐ

年輪刻むその笑顔やよし

松之山 丘山 司郎(高校)

水晶のごとく掲ぎ上げコシヒカリ

わがてのひらで光りを放つ

晩鐘の余韻のひびき淋しくも

枯れて山河は雪待つばかり

長き冬に備へ芋掘り大根引く

独りのわれも冬仕度せむ

小谷 鈴木 俊一(栄屋)

俳句

時じくぞ噴煙は消えず阿蘇燃ゆる

馬刺なる珍味を友に焼酎を酌む

火の国の初冬の陽射しの強さかな

松之山 丘山 司郎(高校)

川柳

旅人も入れて笑いの輪を広げ

他人の事ならいい知恵も出るお世話

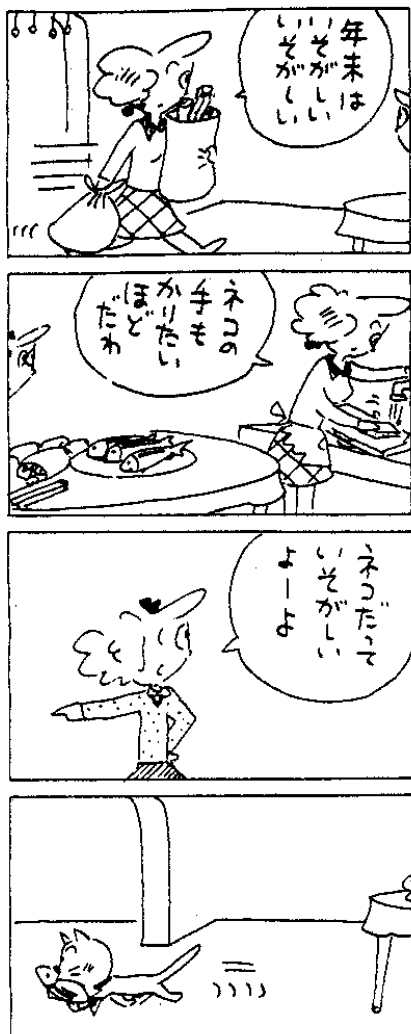
お彼岸の西瓜を賞味し和尚去り

黒倉 草村 正孝(一枚田)



さあやか君

西村 宗



婦人会誌の原稿のお願い

「松之山の婦人の歴史を綴り続けていきたい」と、今年も婦人会誌の発行を計画いたしました。内容は例年通りです。

このまま松之山で安心した暮らしができるよう町の将来や活気ある町づくりについての提案、婦人会の重要性・望ましい活動、日頃思うこと、旅の思い出等どんなことでも結構です。

投稿は自由で会員でない方もぜひ作品をお寄せください。

原稿は1月10日までに町公民館へ提出してください。

なお、集落の会長さん方には改めてお願いの連絡をさし上げます。

年越し国際交流ホームステイ先募集

今年も年末から年始(12月28日～1月3日)にかけて、海外からの留学生たちを迎えて交流イベントを行います。

そこで、12月30日から1月2日までの3泊4日を引受けてくださるファミリーを募集しています。(食費込みで1泊 1,500円の謝礼)

ボランティアの精神と、お互いの交友を深める良い機会です。

留学生の皆さんは12月28日の午後松之山に到着し、松口の青年の家で歓迎会が行われます。

29日はスキー場で一日スキーを楽しむ予定です。

なお、28・29日の宿泊先は松口の青年の家です。

30日の午後から1月2日の午前まで、各ホストファミリーで日本の年末年始を体験し、2日夜は松口の青年の家でお別れ会が盛大に行われます。

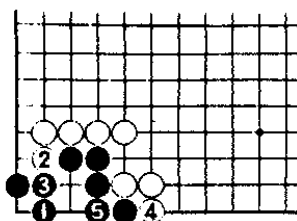
くわしくは、教育委員会の木村律子さんへお問い合わせください。

連絡先

(昼) 教育委員会 ☎ 6-2047

(夜) 自 宅 ☎ 6-2683

生きるコツは、広げるか、別々に二眼を作るかですが、この形では黒1のコスミで別々に二眼を作るのが良く、黒5まで完全な生きとなります。

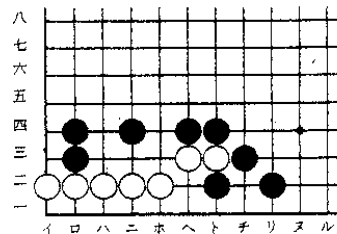


正解者

村山 伸(湯 本)

久保田光栄(天水島)

11月の答え



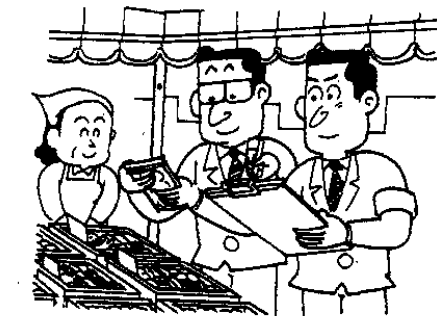
黒先白死(1手だけ)

詰碁の解答を募集しています。12月27日までにハガキなどで広報担当まで正解者には粗品を進呈

詰碁

有難うございまして

上 曜 閉 庁
12月14日・28日
1月11日・25日
水・金・土・日・祭日の属はできません



食品の年末一斉取替り月間

戸 籍 の 窓

あぐやみ(死亡)

(死亡年月日)

- 渡辺マサさん 81歳
(湯山) 藤屋 3・11・4
高藤クマさん 81歳
(湯本) 松野屋 3・11・7
榎熊琢成さん 69歳
(松之山) 陽広寺 3・11・22

- 28日 年越し国際交流 (1月3日まで)
27日 官庁仕事納め (29日まで)
26日 農業委員会総会
松之山葛飾子供交歓会 (29日まで)
25日 湯沢直通バス運行開始 (1月8日まで)
24日 議会定例会
18日 リハビリ教室(すこやか)
10日 リハビリ教室(合同)
9日 スキー場安全祈願祭
3日 集落総代会
▼12月の予定
27日 農業委員会総会
23日 郡婦人ミニバレーボール大会(牧村)
17日 山村留学生収穫祭
町長杯バレーボール大会
郡田基大会
13日 下布川地区コミュニティセンター竣工式
12日 特別養護老人ホーム準備委員会
6日 婦人バレーボール大会
2日 農業委員会総会
▼11月のできごと

ぼくの絵 わたしの絵

浦田保育所



りす組

なぐもかなこさん
(西之前 仁太郎)



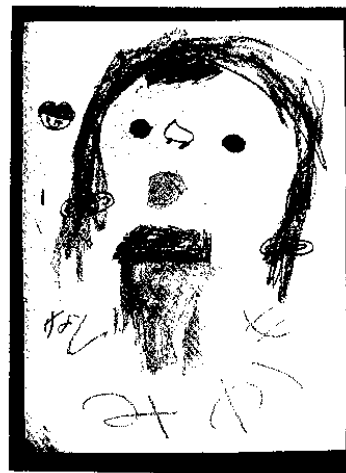
題：いもほり

(保育所でのいもほりを書きました
いもがたくさん取れて良かったです)



りす組

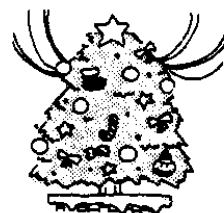
なぐもみかさん
(西之前 大下)



題：あたし

(自分を書きました
顔が良く書けました)

こよみ



編集後記

十一月下旬に降った初雪に驚いて、車のタイヤを早々と替えられた方も多いと思います。

その後比較的暖かい日が続き、このまま行けば長期予報通り暖冬少雪になるかもしれませんね。

平成三年も残すところ二〇日余りとなり、一年があまりにも早く過ぎて行くような気がします。

年末年始の交通事故防止運動も始まりました。

新年を気持ち良く迎えるため事故を起こさないよう、また過わないよう十分気をつけてください。

佐藤

十二月一日の人口

総人口/三、七五二(▲一二)

男/一、八三五(▲三)

女/一、九一六(▲九)

世帯数/一、一六〇(▲四)

(内は十一月一日との比較)

▲は減

広報まつのやま十二月号

平成三年十二月十日発行

発行/新潟県松之山町

六―三三三

編集/総務課